



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

長野西ロータリークラブ



例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1
事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016
e-mail:nwrc@sweet.ocn.ne.jp

会長／池田 修平 幹事／中野 欣哉 クラブ会報委員長／青木 宏
SAA／小山浩太郎 副 SAA／若麻績信昭

第1319回例会 2014年（平成26年）11月28日（金）

ロータリーに輝きを LIGHT UP ROTARY

副会長挨拶

齋藤 泉副会長



本日は今年3回目の挨拶ですが、どうも私が挨拶をする時はバッドニュースが話題にあがる事が多いと思います。

前回の挨拶時は、御嶽山の噴火、今回は長野県北部を震源とする震度6弱の地震の後と言う事で、どうも私が挨拶をしない方が、世の中は平穏である様に思われます。

是非今回でバッドニュース後の挨拶は最後にしたいと思います。

さて、今年の野菜作りもそろそろ終了となります。畑は、来春収穫用に絹サヤ、スナップエンドウ、空豆、キャベツ、玉ネギ、ニンニク、ホーレン草等が春を待つ用畑の一区画に陣取っています。

これから来年3月中旬頃まで野良仕事はお休みしますが、今は来年用に土作りに精を出しています。鍬一本で畑を耕作し、30cm位の畝を作り、土に肥料を施し、良い土に成る事を念じ、静かに春を待ち望んでいる状況です。

12/5 本日のプログラム 年次総会

ゲスト卓話 陳平 米山奨学生

米山奨学会寄付表彰 高橋英司さん・伊東義次さん



米山功労者
1回目表彰

米山功労者
3回目表彰

幹事報告

中野欣哉幹事

11月22日の北部地震では、皆さんからの被害報告がきていませんので、安心しました。鬼無里に行ってきましたが、大変な状況になっていました。いろは堂の伊藤さんのお宅は屋根瓦が崩れ、清水満さんのお宅は外見からはわかりませんでした。かなりの被害が出たかと思えます。お見舞い申し上げます。

- ・次週12月5日年次総会
- ・12月ロータリーレート 1ドル：112円

駅前モニュメントについて 伊東社会奉仕委員長

新幹線開通を記念して駅前モニュメント設置がようやく決定しました。千歳町の商店街と6RCとで資金を出し来年3月に完成予定です。一人あたり1万円を拠出し、およそ500万円弱の鶴のモニュメントです。クラブ名も入りますので、ロータリークラブが応援して出来たモニュメントだにご認識ください。

ゲスト 柴田匡平さん (信州大学教授)

- ・柄澤重登さん☆一週間遅れの報告。14日山口文男さんの「お別れの会」にて弔辞を読ませて頂きました。ひとつの区切りをつけました。ご家族のお話によれば山田先生の愛和病院で亡くなられたとのことでした。ガバナーとそれを支えた地区幹事。送る人、送られる人。ロータリーでの出会い。ロータリー家族らしく、安らかな最期だったと思います。
- ・轟 修平さん☆「寝ても冷めても発芽珈琲」冷めてもおいしいコーヒーです。どうぞお召し上がり下さい。
- ・瀧澤 聡さん☆柴田先生、本日は卓話をありがとうございます。信州大学経営学院のお話を楽しみにしております。
- ・若麻績信昭さん☆12月1日より善光寺正月行事の関係でいろいろマスコミに出る機会が増えますが・・・

・合計 12,500円 ・累計 402,446円

講師紹介

瀧澤 聡プログラム委員長



本日は私の出身学校の信州大学大学院経済・社会政策科学研究科イノベーション・マネジメント専攻 専攻長の柴田匡平先生にお越しいただきました。先生は1979年3月に東京大学卒業後、ロンドン大

学政治経済大学院 国際関係論の研究生として半年間過ごされその後、東京大学に戻り、教養学部助手をされ、そして1984年3月に信州大学経済学部講師となられ、現職に至っています。

例会案内

- 12月12日 年末家族会
於：犀北館 18：30～
- 12月19日 会員卓話 南 信行さん

ゲスト卓話 柴田匡平さん

「信州大学経営大学院の概要と魅力について」



信州大学経営大学院は2003年4月に、県内の企業・経済団体関係者からのご要望にこたえる形で設置されました。平日夜間（火曜～金曜18：00～21：10）および土曜日（日中）に講義時間を設定し、働

きながらマネジメントを学ぶ県内社会人を主な対象とし、マネジメント修士号を授与しております。

これまでの修了生は106名で、ほぼ毎年定員通りの入学者および卒業生を輩出しております。業種や業界は、メーカー、サービス業、流通業、建築土木などの民間企業から行政、医療、経済団体まで幅広く受け入れております。学生の職種やポジションも多様ですが、およそ3割が企業経営者ないし経営幹部で、中堅クラスがそれに次ぎます。傾向としては次世代経営者が多くなりつつあります。

8～9月および2～3月の休みがありますが、4学期制を採用しており、修了に必要な単位（30単位）を取得するには、平均で週平日に2～3日を通学に当てればよく、在学途中の転勤や業務上の都合により2年以上の修学を見込む場合には、およそ2年分の学費で4年間まで在籍できる制度もございます。

学生は多様なバックグラウンドと問題意識を持ちつつ、いわば楷書のマネジメントフレームを学ぶことにより、企業や組織、業界でしか通じない「地方語」ではなく、標準語でのマネジメントを語れるようになり、同学年だけでなく、県内を中心に強固なネットワークを作り上げつつあるOB組織を通じ、広い視野と人脈を形成することができます。

経営大学院での勉学は努力と勇猛心を必要としますが、これまで複数の入学者を送り込んだ企業・団体は15を越え、社内に授業料補助制度を設ける例も10を越えつつあるところから、一定の満足度を獲得しているものと思っております。ご関心がおありの節にはどうぞ「信州大学経営大学院」でネットを検索いただくか、代表番号026-269-5696にお電話下さい。